

建物に
快適パフォーマンスを。

2017年度 第102期

IR通信

2017年4月1日～2018年3月31日

More Smoothly!

株主の皆さまへ

株主の皆さまには、平素より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

2017年度におけるわが国経済は、企業収益・雇用・所得環境など総じて改善し、景気は緩やかな回復基調で推移しました。

建設業界におきましては、公共投資・民間設備投資とも底堅い動きが続いたものの、厳しい受注競争や労働者不足などの課題もみられました。

このような状況のもと、当社グループは、中期経営計画に掲げる①受注の確保・拡大、②利益の確保・拡大、③活力を生む“人づくり”、④品質の向上、⑤働き方改革への諸施策に取り組んできた結果、2017年度の業績は以下のとおりとなりました。

売上高につきましては、配電線工事が減少したものの、屋内電気工事・空調管工事が増加したこと及びM&Aによる連結子会社の売上高が加わったことなどにより前年度を上回りました。

営業利益につきましては、継続して原価低減に努めたものの、配電線工事の売上高減少やM&Aに伴う費用などの販管費が増加したことなどにより前年度を下回りました。

経常利益につきましては、投資有価証券償還益を計上した

ものの、営業利益が減少したことにより前年度を下回りました。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、固定資産処分益などの特別利益が減少したことにより前年度を下回りました。

今後の経済見通しにつきましては、引き続き緩やかな回復を続けていくことが期待されますが、海外経済や金融市場の動向などにより景気が下押しされるリスクがあります。

このような状況のもと、当社グループは、将来にわたり持続的発展を遂げていくにあたり、2024年度を目処とした「中電工グループ 中長期ビジョン」を掲げており、その実現に向けた中期経営計画(2018～2020年度)を策定しております。

この計画では、安全とコンプライアンスを最優先として、前中期経営計画の施策を継続・強化するとともに、更なる成長に向け新たな取り組みにもチャレンジしてまいります。

株主の皆さまにおかれましては、今後とも当社グループの事業に格別のご理解とご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。



2018年6月

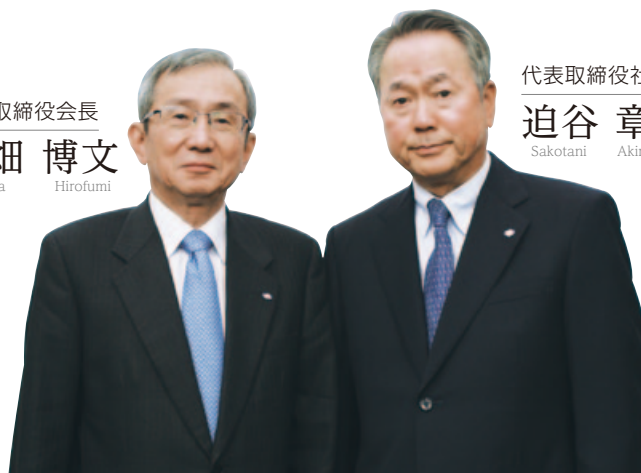
連結業績	
売上高	1,483億円 (前年度比 0.2%増)
営業利益	85億3千5百万円 (前年度比 11.8%減)
経常利益	117億4千4百万円 (前年度比 1.1%減)
親会社株主に帰属する当期純利益	78億9百万円 (前年度比 15.8%減)

代表取締役会長

小畑 博文
Obata Hirofumi

代表取締役社長

迫谷 章
Sakotani Akira



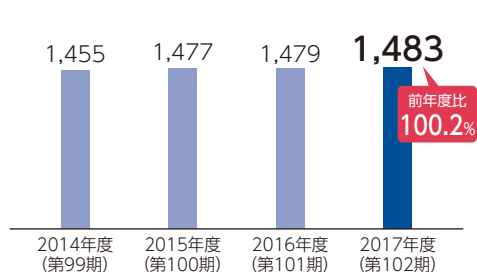
連結決算 ハイライト

決算
POINT

[増収・減益] 6期連続で増収、一方で売上総利益の減少やM&A関連費用などの販管費の増加により減益

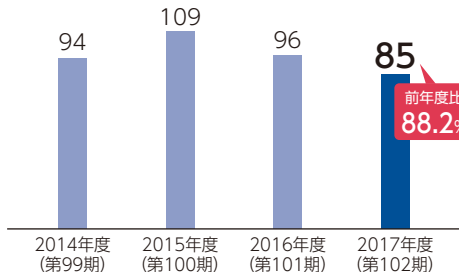
売上高

(億円)



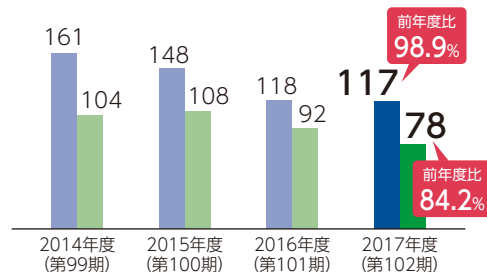
営業利益

(億円)



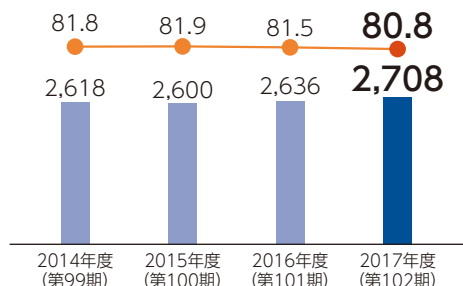
経常利益／親会社株主に帰属する当期純利益

■ 経常利益 (億円) ■ 親会社株主に帰属する当期純利益 (億円)



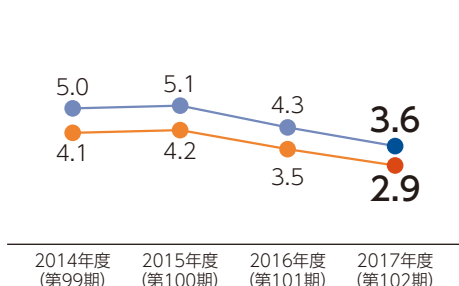
総資産／自己資本比率

■ 総資産 (億円) ● 自己資本比率 (%)



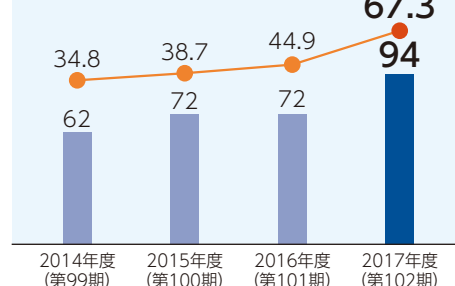
自己資本利益率(ROE)／総資産利益率(ROA)

● ROE (%) ● ROA (%)



配当金／配当性向

■ 配当金 (円) ● 配当性向 (%)



	2014年度(第99期)	2015年度(第100期)	2016年度(第101期)	2017年度(第102期)
1株当たり当期純利益 (円)	178.29	185.97	160.20	139.61
1株当たり純資産額 (円)	3,638.40	3,654.78	3,844.92	3,909.09

工事種別受注高・売上高(個別)

受注高

1,364億円

売上高

1,318億円



屋内電気工事 52.0%

	2016年度 (第101期)	2017年度 (第102期)
受注高(億円)	739	657
売上高(億円)	672	685



配電線工事 22.3%

	2016年度 (第101期)	2017年度 (第102期)
受注高(億円)	331	294
売上高(億円)	331	293



空調管工事 17.9%

	2016年度 (第101期)	2017年度 (第102期)
受注高(億円)	256	298
売上高(億円)	218	235



情報通信工事 4.0%

	2016年度 (第101期)	2017年度 (第102期)
受注高(億円)	57	53
売上高(億円)	50	53



発送変電工事 3.8%

	2016年度 (第101期)	2017年度 (第102期)
受注高(億円)	47	61
売上高(億円)	51	50

中期経営計画(2015～2017年度)の総括

安全とコンプライアンスを最優先に、テーマである「経営基盤の強化と更なる成長」の実現に向け、将来を見据えた成長戦略による事業の拡大に取り組んでまいりました。当初目標に対し、売上高は若干未達となったものの、利益面では大幅に上回ることができました。

2017年度数値

当初目標

連結売上高

1,500億円

連結営業利益

70億円

(4.7%)

実績

1,483億円

85億円

(5.8%)

()は連結売上高営業利益率

持続的な成長のための投資

内部資金を活用した投資枠300億円を設定し、110億円を投資

》 事業への出資

- ・太陽光発電事業(瀬戸内Kirei他)
- ・農業関連事業

》 M&Aの実施

- ・都市圏の設備工事会社 2 社
- ・海外の電気工事会社 1 社

》 人材育成・技術研究開発等

株主還元

配当金

DOE(連結株主資本配当率)により配当を実施

2015年度

2016年度

2017年度

DOE

2.06%

2.02%

2.54%

1株当たり配当金

72円

72円

94円

自己株式

必要に応じて自己株式取得を実施

2015年度

2016年度

取得

70万株(16億円)

250万株(49億円)

消却

—

700万株

中期経営計画(2018～2020年度)の策定

当社グループは、将来にわたり持続的な発展を遂げていくにあたり、2024年度を目処とした「中電工グループ 中長期ビジョン」を掲げており、その実現に向けた中期経営計画(2018～2020年度)を策定しております。
この計画では、安全とコンプライアンスを最優先として、前中期経営計画の施策を継続・強化するとともに、更なる成長に向け新たな取り組みにもチャレンジしてまいります。

I テーマ「変革と成長を遂げる中電工グループへ」

II 主要施策



III 数値目標

2020年度	連結売上高	1,650億円
	連結営業利益	100億円(6.1%)

()は連結売上高営業利益率

IV 資本政策の具体策

1. 持続的な成長のための投資	2. 株主還元	2018年度(予想)
事業の拡大や人材の確保・育成等、持続的な成長のために内部資金を活用することとし、300億円の投資枠を設定する。	持続的・安定的な配当を行うことを重視し、DOE(連結株主資本配当率)2.7%を目処に配当を行う。 また、経営環境等を総合的に勘案したうえで、必要に応じて自己株式取得を実施する。	1株当たり配当金
		104円

施工実績



屋内電気工事



空調管工事



情報通信工事



配電線工事



発送変電工事



広島駅南口Cブロック第一種市街地再開発事業
(広島県広島市)



安来市総合文化ホール
アルテピア
(島根県安来市)



愛媛大学医学部
附属病院
(愛媛県東温市)



東広島北部学校
給食センター
(広島県東広島市)



西ノ島変電所(ハイブリッド蓄電池
システム)新設工事(連係設備)
(島根県隠岐郡)



配電線工事
作業現場



瀬戸内Kirei 太陽光発電所
(岡山県瀬戸内市)



TOPICS

2017年
11月

おかげさま旬間を実施

11月6日から17日までの10営業日の間、お客さまや地域の皆さまへ日頃のご愛顧に対する「感謝」の気持ちをお伝えするため、「おかげさま旬間」を実施しました。

各地域で清掃活動や設備点検などの奉仕活動を行ったほか、小学校への電気に関する冊子の寄贈や、高校生を対象とした安全実習棟の体験・見学会、高所作業車の搭乗体験会などを行いました。



▲清掃活動の様子

2017年
11月

田川幸二氏（配電安全品質部）が黄綬褒章を受章

配電安全品質部の田川幸二氏が、工業等の業務に精励し他の模範となるような技術や事績を有する者に贈られる黄綬褒章を受章しました。配電線工事等で培った豊富な知識・経験から活線作業用器具の開発に携わり、作業安全の一層の確保と作業の効率化を進めたことや、教育指導員として新入社員および後進技能者の育成に貢献したことが評価されました。

同氏は、2010年に蒔澤賞を受賞、2013年にひろしまマイスターの認定、2015年には現代の名工（厚生労働大臣表彰）に選出と数多くの功績を残しており、現在は新入社員の指導や高等学校での出張授業など、次世代への技術・技能の継承に取り組んでいます。



2017年
11月

第55回技能五輪全国大会で銀賞を受賞

11月24日に栃木県で開催された「第55回技能五輪全国大会 電工の部」に、広島県代表として当社から5名の選手が出場しました。競技の結果、生村悠真選手が銀賞（2位）、初出場の東将貴選手が敢闘賞を受賞しました。この2名の入賞により、当社は2010年からの連続入賞記録を伸ばしています。

2018年11月に開催される第56回大会には、生村選手、東選手を含む6名の選手が出場予定です。



▲生村選手



▲東選手

2018年
2月

広島IRフェアに参加

2月28日、広島国際会議場で行われた「広島IRフェア」に参加しました。会場では、当社の業務内容を紹介するDVD映像を放映した後、会社概要や業績、中期経営計画、中電工グループ中長期ビジョン、株主還元等について説明しました。

当日は、当社がこれまで参加した個人投資家向け会社説明会では最多となる約700名が来場しました。



2017年
11月

「ひろしまマイスター」による出張授業を実施

優れた技能者として広島県から認定された「ひろしまマイスター」の当社社員が、11月から3月にかけて、出張授業（屋内電気工事・配電線工事）を実施しました。今年度は、工事に使用する工具の取り扱い方や、ケーブル接続、金属管曲げなどを指導したほか、高所作業車搭乗体験を行いました。

この出張授業は2014年度から実施しており、2018年度も引き続き実施する予定です。



会社概要 (2018年3月31日現在)

設立年月日	1944年(昭和19年)9月29日
資本金	34億8,190万5,850円
従業員数	3,414名
主要な事業内容	屋内電気工事、空調管工事、情報通信工事、配電線工事、発送変電工事の設計施工
本店	広島市中区小網町6番12号
主要な事業場	広島・岡山・山口・島根・鳥取統括支社、東京・大阪本部、九州支社、電力建設所

株式の状況 (2018年3月31日現在)

発行可能株式総数	260,000,000株
発行済株式の総数	56,143,272株 (自己株式1,994,845株を除く)

株主数	5,305名
-----	--------

大株主

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
中国電力株式会社	21,892,259	38.99
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	2,264,800	4.03
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(三井住友信託銀行再信託分・株式会社もみじ銀行退職給付信託口)	1,673,900	2.98
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	1,433,600	2.55
株式会社中国銀行	1,398,619	2.49
株式会社山陰合同銀行	1,256,481	2.23
明治安田生命保険相互会社	1,129,465	2.01
株式会社広島銀行	1,036,180	1.84
株式会社山口銀行	1,000,279	1.78
中電工従業員株式投資会	902,968	1.60

(注) 持株比率は、発行済株式の総数から自己株式1,994,845株を控除して計算し、表示単位未満を切り捨てて表示しております。

役員 (2018年3月31日現在)

代表取締役会長	神出 亨	取締役執行役員	山田 昌志
代表取締役社長	小畑 博文	取締役(社外取締役)	見立 和幸
代表取締役副社長執行役員	畠 由紀男	取締役(社外取締役)	鶴 衛
取締役専務執行役員	國木 恒久	常任監査役	四方田 茂
取締役専務執行役員	伊藤 聖彦	監査役	廣田 充
取締役専務執行役員	堤 孝信	監査役(社外監査役)	椎木 タカ
取締役専務執行役員	緒方 秀文	監査役(社外監査役)	川平 伴勅
取締役専務執行役員	熊崎 村夫	監査役(社外監査役)	松村 秀雄

株主メモ

決算期日	毎年3月31日
定時株主総会開催時期	毎年6月中
同総会権利行使株主確定日	毎年3月31日
期末配当金受領株主確定日	毎年3月31日
中間配当金受領株主確定日	毎年9月30日

株主名簿管理人及び特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
----------------------	---------------

同事務取扱場所・問合せ・郵便物送付先
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
電話 0120-094-777 (通話料無料)

公告方法
電子公告により、当社ウェブサイト
(<http://www.chudenko.co.jp/info/topic/news.html>)
に掲載いたします。
ただし、やむを得ない事由により電子公告による公告をすることができない場合は、広島市において発行する中国新聞並びに日本経済新聞に掲載いたします。

上場証券取引所	株式会社東京証券取引所
---------	-------------

重要なお知らせ

特別口座の株主さまへ

株券電子化により、すべての上場会社の株式は、証券会社等の口座で電子的に管理されるようになりました。株券電子化移行時点で、証券会社を通じ株券を「株式会社証券保管振替機構」に預けられていなかった株式、あるいは単元未満登録株式等株券が発行されていない株式など、**証券会社の株主さまの口座で電子的に管理されなかった株式は**、株主権保護のため、当社が株主さま名義で三菱UFJ信託銀行に開設した特別口座にて電子的に管理しています。
しかしながら、**特別口座に記録された株式は、このままでは証券市場での売却等ができないばかりか、相続手続きが煩雑になるなどの制約がございます。**
つきましては、次の当社特別口座の口座管理機関である三菱UFJ信託銀行へご連絡のうえ、「**口座振替申請**」のお手続きを行っていただきますようお願いいたします。

特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

単元未満株式(100株未満の株式)をお持ちの株主さまへ

当社の株式は、100株が1単元(売買単位)となっており、100株に満たない株式(単元未満株式)は、市場で売却することができません。
単元未満株式は、当社に対して買取請求(売却する)、または買増請求(買い増して100株にする)ができますので、ご検討いただきますようお願いいたします。

【お問い合わせ・ご請求先】
① 証券会社に単元未満株式をご所有の株主さま
株主さまの口座がある証券会社
② 特別口座に単元未満株式をご所有の株主さま
特別口座の口座管理機関
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
☎ 0120-094-777 (通話料無料)

ご注意 このお知らせは、口座振替申請・買取請求等を強制するものではありません。本手続きに際しましては、株主さまご自身でご判断くださいますようお願いいたします。



見やすいユニバーサルデザイン
フォントを採用しています。



環境にやさしい植物油インキ
(ベジタブルインキ)を使用
しています。